

広島支部は昨年度に続き通信システム事業本部（多目的ホール）にて会員 96 名参加
山下通信システム事業副本部長のご臨席戴き広島支部年賀会を実施。本部新春年賀会の模様を
TV 同時中継システムで拝聴いたしました。

【第一部】本部新春年賀会(TV 中継)

●社友会御手洗会長のご挨拶

家電業界は本年正念場の年を迎えているがシャープは新しい挑戦により困難を乗り越えるものと
確信している。社友会は昨年度 30 周年事業として「記念誌発行」「社友会展示会」及び
「GF 堺工場見学会」を実施、(GF 工場見学会；本部 120 名、支部 140 名参加) 400 名余りの
会員が抽選もれとなり、今春、見学会実施の実現を推進して参ります。又、本部も地区制を設け
専任者配置し、地域活動に参画して社会貢献を通じてシャープブランドのアップにつなげたい。
との言葉があり、広島支部の参加者の皆様も同感されていました。

●町田会長のご挨拶

佐伯元社長、深尾元専務、松本元副社長へのご冥福をお祈りすると共に改めてこの一年頑張りたい。
大きな影響のある（2011 年問題）の克服こそ今年の最大かつ緊急の課題であり、

- ①ものづくりの基本の復興（コスト意識の徹底）
- ②新興国市場への取り組み強化
- ③エキサイティングな新技術を興す。この 3 つの興を通じて社員一人ひとりが自ら変化をとげ、
スキルを高め挑戦する意欲とたくましさ最も求められる。事業創業 100 周年を迎えるシャープ
にとり 100 年に一度の総決算さらなる発展に向け総力を挙げて勝ちとろう。

●片山社長のご挨拶

本年度「2011 年問題」に立ち向かう厳しい経営環境に臨む 3 大方針

- ①グローバルな視点でのコスト競争力の強化
- ②地域戦略の再構築（新興国、他地域ゾーン統轄を置き現地人のトップによる現地にフィット
した取り組みと確実な市場開拓）
- ③ビジネスモデルの変革（新しい価値を提案できるモデルの開発投入、GALAPAGOS、他商品
デバイス、サービス等の提案）に従いメーカとして基盤力の強化を図るべく、
・4 つの変革の取り組みを実施。
 - ① 人材戦略（人づくり）
 - ②ものづくり（既存プログラムの立て直し）
 - ③財務体質の改善
 - ④マーケティング戦略（市場づくり、新興国市場の開拓）
等の施策推進し、社員一人ひとりの意識改革と実行により「人づくり、ものづくり、
価値づくりで拓く確かな成長」のスローガンのもと全社一丸となって本年の試練を克服し
新しいシャープを築きたい。

お二方の「事業構造の大改革」へ挑む決意表明があり年賀会に参加戴きました。
社友会 OB の皆様シャープの現下状況と今後の目指す成長につき、直にトップからの取り組み方針を拝聴する機会に恵まれ認識を新たにすることができ大変幸甚でした。

更に第二部で会社役員のご紹介あり

【第二部】 会社役員紹介・懇親会(TV 中継)

●辻相談役のご挨拶

本年創業 99 年目を迎え「2011 年問題」の克服に立ち向かい、かつて 1965 年オリンピック後大不況（40 年不況）に直面、早川社長が 1966 年「ものづくり、市場づくり、人づくり」作戦を進めて不況を乗り越え、3C 時代を経てオンリーワン戦略推進発展を支えました。

この時の様にして原点に立ち返り知恵を出し合い「ものづくり、人づくり、価値づくり」はグローバル時代になっても正攻法の取り組みであり、全員一致団結して厳しい環境を切り拓く目標である。社友会の皆様も人生の先輩として—ユーザーとして現役への声かけ励ましをお願いしたい。との言葉に長年の会社魂を我々OBは思い起こしました。

●桂元副社長のご挨拶

現在の大きな問題は大学生就職内定率 57%、大阪府の生活保護支援費が歳出の 17%、日本の借金（GDP の 2 年分）、社会学者の”Japan as Number One”の著者「エズラ・ヴォーゲル」が朝日新聞のインタビューに答えて「日本の一番の問題は生活に満足して内向きになって危機を忘れている」と日本人の危機意識の欠如を指摘、世界ではリーマンショック以降恐慌対策として米国 400 兆円投入（日本も 120 億円）するも（中国やベトナムは別として）殆どの国が依然として不況下にあり投入された資金が金や石油など不動産価格の暴騰を招き大多数（63%も）の企業の会社価格が解散価格割れをきたしている状況であります。

その中で企業経営は並大抵ではない売上 3 兆 4 千億余りのシャープでも誰が経営はしようと並大抵なことではない。この時に当たり我々シャープ OB はシャープ家族として会社に対して何か貢献できないのかを考えて実行してほしい。という支援の呼びかけと乾盃の発声があり、大変タイムリーでした。

【第三部】 社友会広島支部新春年賀会

●山本支部長のご挨拶

現下の厳しい政治経済状況の話と総会後の社友会取り組み説明、地区委員 WebTV 会議導入、GF 堺工場見学会 42 名参加、秋季旅行実施などあり、春季旅行現在 30 名余り、更に参加を募りたいとの願いがありました。

●山下副本部長のご挨拶

社友会広島支部設立 18 周年を迎えられご活躍されておられることを喜んでいきます。
通信システム事業本部は厳しい状況にあり業績がピーク時の実績までは未だ回復していない。
広島事業部としての傘下組織体制の説明紹介と現在様々な商品（ソフト開発含む）すべて取り組みスマートフォンモバイル端末、電子書籍など他業界とも連携してソフト事業の立ち上げを含む事業拡大に勤めているとの表明がありました。

●阿部執行委員長のご挨拶

社友会の hibiki や HP などヒントに組合活動の活性化を図っている。経済環境が厳しい状況にあり、会社の労使協議を通して労使のつながりを強め組合員の生活支援につとめたいとの表明がありました。

- ・ 詩吟和歌朗詠（さしのぼる）・ 社友会員 新林さん
- ・ 乾盃の発声 ・ 社友会新入参加会員 橋野さん
- ・ 新入会員自己紹介 ・ 6名（下重さん、井出さん、橋野さん、出口さん、菊池さん、新垣さん）
- ・ 古希会員のご挨拶 ・ 4名（川田さん、明石さん、牛田さん、山本（善）さん
- ・ 近況報告 ・ 大林さん、佐々木さんよりボランティア活動取り組みや「地域づくり」の取り組み紹介の話がありました。
- ・ 同好会報告 ・ 絵手紙同好会（川田リーダ）、パソコン同好会（車角リーダ）より夫々活動報告ありました。
- ・ 特別報告 ・ 山本支部長より「東広島市地盤整備事業報告」がパワーポイントを使用して説明があり、東広島在住の社友会 OB 多数が今後の展開に大いに関心を示されました。
- ・ 新春福引ビンゴゲーム大会 ・ 新しくパソコンソフト使用して初の BINGO を実施、景品 25 個ゲットされた方は大いに満足のご様子でした。
- ・ 会を終えて発表者が多かったが大変貴重な意見や生の声が聞けて大変有意義な会で有った。